

# 部活動などの活躍

## 《バスケットボール部》

荒川区夏季総合体育大会

男子 **第3位**

女子 **第3位**



男子バスケットボール部の皆さん

## 《ソフトテニス部》

荒川区夏季総合体育大会

女子団体戦 **第3位**



女子バスケットボール部の皆さん

## 《パソコン部》

第17回毎日パソコン入力コンクール6月大会

第6部和文B高校生部門入賞

〇〇〇〇さん(3-1)、〇〇〇〇さん(3-2)

第5部和文A中学生部門入賞

〇〇〇〇くん(3-1)、〇〇〇〇くん(3-1)、〇〇〇〇くん(3-2)、〇〇〇〇くん(3-2)、  
〇〇〇〇くん(3-2)、〇〇〇〇くん(3-3)、〇〇〇〇さん(3-3)、〇〇〇〇くん(3-4)、  
〇〇〇〇くん(3-4)、〇〇〇〇くん(2-1)、〇〇〇〇くん(2-2)、〇〇〇〇くん(2-2)、  
〇〇〇〇さん(2-2)、〇〇〇〇くん(2-3)、〇〇〇〇くん(2-3)、〇〇〇〇くん(2-3)

第2部ローマ字部門入賞

〇〇〇〇くん(1-1)、〇〇〇〇くん(1-4)、〇〇〇〇くん(1-4)、〇〇〇〇くん(1-4)



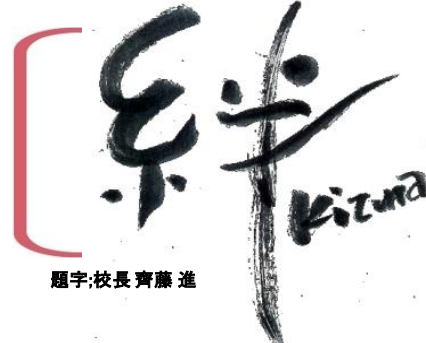
## 南千住マイスターのコーナー

明治になり名譽は回復され、世田谷区の松陰神社に改葬されましたが、今でも回向院に墓石が残されているのです。

「吉田松陰」もその一人です。  
吉田松陰は、文政13年(1830年)8月、長州藩の下級武士の二男として萩の松本村に生まれました。幼少の頃、叔父が開いた松下村塾で指導を受け、11歳の時、藩主への御前講義の出来栄が見事であったことにより、早くもその才能が認められていました。  
嘉永7年(1854年)、ペリー2度目の来航の際、弟子とともに伊豆下田で密航計画荒川区の移動教室が下田で行われるのも、この縁があるのかもしれない)を企てるも失敗し、萩の野山獄に幽囚されてしまいました。その後、生家で預かりの身となりますが、叔父の後を継いで松下村塾を引き受けて主宰者となりました。そこではかの有名な、高杉晋作、伊藤博文、山県有朋など、維新の指導者となる人材を教えたことから明治維新の事実上の精神的理論者として、不世出の教育者といわれます。安政5年(1858年)、幕府が日米修好通商条約を結ぶと松陰は激しくこれを非難、老中・間部詮勝の暗殺を企てます。長州藩は警戒して再び松陰を投獄しますが、翌年、幕府の安政の大獄により松陰は江戸に送致されます。松陰は老中暗殺計画を自供して自らの思想を語り、同年、江戸伝馬町の獄において斬首刑に処されました。享年わずか30歳でした。この時獄中で遺書として門弟達に向けて維新の教科書ともいえる「留魂録」を書き残しています。そして幕府によって大罪人とされた松陰は南千住回向院に葬られたのです。

## 南千住と歴史上の人物 その4 『安政の大獄(1) 吉田松陰』

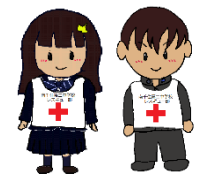
小塚原回向院 吉田松陰墓石



題字:校長 齊藤 進



学校だより  
平成29年7月  
第76号  
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

# ハッピーボックスに投稿しよう



校長 齊藤 進

生徒会の提案で南二中ハッピーボックスが始まりました。ハッピーボックスは日常生活で生徒や教職員が嬉しく思ったことなどをハッピーカードに記入し各階に設けられたハッピーボックスに投稿するものです。そして、投稿の内容を2週間に一度昼の放送で紹介しします。普段の生活で何気ないことでちよっぴり嬉しかったことなどを紹介することで学校全体がほのぼのとした雰囲気になると思います。



この試みは福岡県のある中学校の女子生徒の提案で始まりました。ハッピーボックスにより学校が良くなっていったそうです。さらに、福岡市役所もハッピーボックスを取り入れ市民の声を紹介しているそうです。

私自身も最近嬉しかったことがあります。近隣にお住いの〇〇〇様が運動会時の絆ネットワーク活動を「人間力を育む中学生の挨拶」という題で東京新聞に投稿され、レスキュー部員の活躍をほめていただきました。同じく運動会での絆ネットワーク活動で近隣の挨拶周りをしたとき、2年〇〇〇君がある方にほめられたそうです。その時、「〇〇君は学校の先生が素晴らしんです」と返答したそうです。そのことに感心したその方が本校の職員にそうしたエピソードを伝えてくれました。また、スーパーレスキュー部員の3年生〇〇〇〇君は自転車で転倒した小学生の応急手当をしました。目撃した小学校の先生からお知らせをいただきました。さらに〇〇君は校外学習の際、道に迷った方を地下鉄三ノ輪駅まで案内したそうです。

この紙面をお借りして私のハッピーカードに代えさせていただきます。

いよいよ夏休みになります。夏休みはプール教室、部活動、補充教室、防災訓練、被災地派遣、ワールドスクール、三首都交流事業、トレセン、芭蕉の大橋渡り等様々な行事があります。

「命、学力、体力、南二中生の品格」を落とさず充実した日々を送りましょう。

## 第29回 運動会

6月10日(土)、晴れ渡る空の下、南千住第二中学校第29回運動会が行われました。今年は全学年4クラスが揃ったはじめての運動会となり、学年優勝を目指すクラス対抗戦と、総合優勝を目指す色別対抗戦では、“赤、白、黄、緑”の4色に分かれて、さまざまな競技が繰り広げられました。校庭には応援団が作った赤組、白組、黄組、緑組、の団旗が掲げられました。吹奏楽部の演奏に合わせて校旗を高くかざした生徒会長の〇〇〇〇さん(3-3)を先頭に、生徒会役員が続き、赤組、白組、黄組、緑組の順で隊形を組み入場する入場行進からはじまりました。

開会式では、実行委員会委員長 〇〇〇〇さん(3-2)の力強い選手宣誓が行われ、各色の応援旗を持って周りを囲んだ各クラスの実行委員も誇らしげな表情にあふれました。最初の演技はラジオ体操。実行委員会副委員長 〇〇〇〇くん(3-2)が前に立ち、模範演技を行う中、全校生徒の息が合った、素晴らしい演技になりました。

午前の部は、1年男子の短距離走からはじまり、男女別の長距離走、色別対抗棒引き、1年女子の短距離走、色別対抗綱引き、3年全員リレー、1・2年の学年種目と続きました。1年生の学年種目は「おさるのかごや」。3人1組となって、おさる役の生徒は棒にぶら下がり、かごや役の生徒2人がその棒を肩に担いで運びます。勝ったのは、3組(黄)でした。2年生の学年種目は「背中渡り」。背中のできた道をバランスをとりながら進みます。チームワークの勝利を決めたのは、3組(赤)でした。各学年の学級対抗リレーでは応援も競技も大盛り上がりで、午前の部は赤組優勢で終わりました。

昼食後、各色の応援団が紹介され、競技が再開されました。午後の部は、1・2年全員リレーからはじまり、3年生の学年種目「大むかで」と続きました。これまで3年生は中学校生活最後のこの団体競技に向けて毎日練習を続けてきました。皆で心をひとつにして駆け抜けたゴールは、笑顔と涙にあふれていました。そして競技の最後を飾るのは、各色の精鋭を集めて行われた色別対抗リレーです。各色の応援団席からは声を限りの大声援が送られ、選手たちの表情は気迫に溢れていました。1年から2年、そして3年とバトンをつなぎ、一番にゴールを切ったのは、緑組でした。最後まで全力でゴールを駆け抜けた選手たちに会場からは惜しめない拍手が送られました。

全競技を終えて、閉会式で実行委員 〇〇〇〇さん(3-4)から結果発表が行われました。学年対抗の部の優勝は、3年生が1組、2年生が3組、1年生が1組でした。そして色別対抗の部では、午後の競技で逆転を果たした緑組が優勝をおさめました。

運動会に際しては、保護者、地域の皆さまのご理解・協力ありがとうございました。



## 保育園合同避難訓練

災害時に南千住二中が避難所になったことを想定して、レスキュー部と近隣保育園の合同による避難訓練が6月29日(木)に行われました。今回参加した保育園は、南千住七丁目保育園とおひさま保育園の2園です。レスキュー部員は2チームに分かれ、園児たちを迎えにそれぞれの保育園に向かい、園児1人にレスキュー部員1人が付き添って、安全に配慮しながら南千住二中まで誘導しました。

到着後は、絵本を読んだり、折り紙や絵描きなどで一緒に遊び、園児たちとふれあう時間をつくりました。顔なじみになることで、万一の時にも園児たちは安心して迎えを待つことができます。最後に園児を保育園に送り届けて訓練は終了しました。今後も定期的に合同避難訓練を行い、地域とともに防災意識を高めていきます。



上:公道では安全のため、園児の車道側を歩きます。  
左:一緒に遊んでコミュニケーションを育みました。

## 第2回 ビブリオバトル

図書委員会では第2回ビブリオバトルを7月4日(火)の放課後に開催しました。ビブリオバトルとは、『本を紹介するゲーム』です。発表者は5分の持ち時間の中で、“どのようにしてその本と出会い、その本を読んでどこが面白いと思ったか”を語ります。発表後に参加者全員でその発表について意見交換。最後に、会場の参加者全員が「一番読みたい本」に挙手して、もっとも多くの人気を集めた本が『チャンプ本』となります。今回は1・3年生の6人が好きな本の魅力について発表。1年生の〇〇〇〇くん(1組)が「O型自分の説明書」、〇〇〇〇くん(2組)が「信じられない現実の大図鑑」、〇〇〇〇くん(3組)が「ハリーポッター」、3年生の〇〇〇〇さん(1組)が「きよしこ」、〇〇〇〇くん(3組)が「ソードアート・オンライン」、〇〇〇〇さん(4組)が「羊に名前をつけてしまった少年」について紹介しました。

そして、第二回チャンプ本には、主人公(重松清)が転校した友だちに伝えられなかった思いを綴った「きよしこ」に決まりました。どの本も図書室にあります。この機会に読んでみませんか。

## 図書委員会



司会の〇〇くん(右)と推薦本を持ってあいさつする発表者の皆さん



進行の〇〇さん(左)と〇〇くん(右)

## 九州北部豪雨災害・緊急支援募金

## JRC委員会

平成29年7月、記録的な豪雨を観測した九州北部地方では、大規模な河川の氾濫や橋の崩落、土砂崩れなどにより甚大な被害に見舞われました。多くの流木や土砂にはばまれ、復旧作業にはかなりの時間を要すと見られ、いまだ安否不明者も複数に上ります。

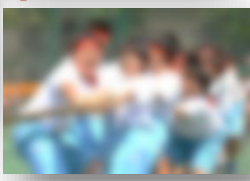
その一報を受け、JRC委員会がすぐに集められ、委員長の〇〇〇〇さん(3-4)を中心に被災者支援について話し合い、緊急支援として7月13日(木)~19日(水)に募金活動を行うことになりました。生徒やご家族、教職員の協力と善意で4日間に集まった募金は、JRC委員会によって荒川南千住五郵便局から日本赤十字社へ九州北部豪雨災害義援金として送られました。

今後、被災地の復興や被災者支援に役立てられます。皆さまのご協力、ありがとうございました。

毎朝8時から校門前で募金活動をしました



勝利を目指して、  
競技に全力で挑む!



# 1年生校外学習(南千住地域学習)

7月7日(金)、1年生の校外学習が行われました。当日は30℃を超える真夏日となり、途中水分補給と休憩をはさみながら、午前中は**素盞雄神社**や**回向院**、**円通寺**、**浄閑寺**、**延命寺**、**赤レンガ塀**などの**史跡や文化財を自分たちが考えたコースで、班ごとに巡りました**。各地域には3年生が待機し、その史跡や文化財にまつわる歴史や逸話、名前の由来などを紹介。趣向を凝らした演出方法に皆暑さも忘れて聞き入り、たいへん楽しく学べる校外学習となりました。3年生から説明を受けるともらえるマイスターシールを20個以上集めた班もありました。

午後からは毎年、地域学習の一環として、荒川総合スポーツセンターで行われている**「あらかわの伝統技術展」**を見学しました。昼にはスポーツセンターに集合し、大体育館の2階ギャラリーでお弁当をとらせていただきました。階下で行われている伝統技術展の邪魔にならないように静かに行儀よく昼食をとる様子は先輩たちが守り通してきた南千住二中の伝統となっており、会場をお借りするスポーツセンターや伝統技術展の皆さんから高い評価をいただいています。今年の1年生も、物音ひとつ立てることなく、伝統技術展を眺めながらたいへん静かに食事をとることができました。100人以上が一堂に会して、**整然と行動する姿はとても立派で、今年もお褒めの言葉をいただくことができました**。

1年生はこの校外学習を通し、南千住地域の歴史的価値を再認識し、また、荒川区のたくさんの職人さんたちによる伝統的な技術を目の当たりにし、地域に対する誇りを高めました。

## 3年生が地域を語る！

南千住地域には、たくさんの施設や有名な通り、神社やお寺などがあります。これらを49ヶ所に分けて、3年生が1年生の見学先で地域の歴史や人物などを紹介しました。**3年生による講座は、3年間の地域学習の成果であり、「地域を語る南二中生」としての実力を存分に発揮して、1年生がわかりやすいように工夫を凝らしたものばかり**。タブレットを使ったり、紙芝居で物語風にまとめたり、なかには寸劇を交えるものもあり、1年生に大好評でした。



延命寺にて



素盞雄神社にて



ふるさと文化館前にて



千住製絨所跡地赤レンガ前にて



伝統技術展を見学



三味線の演奏を体験



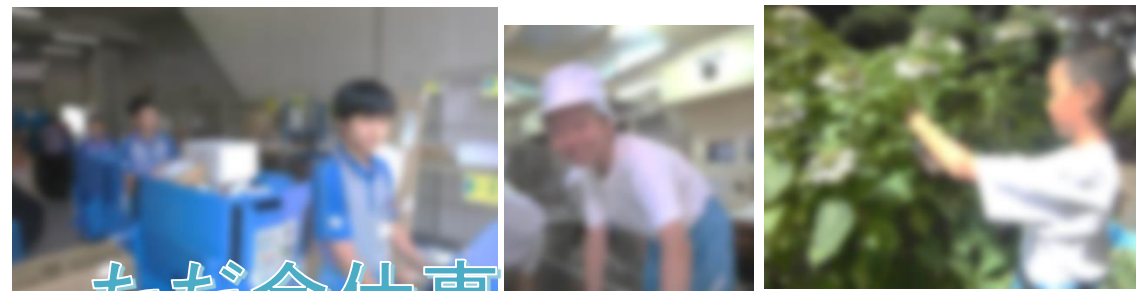
# 2年生 勤労留学

7月7日(金)から13日(木)までの5日間、2年生は地域の事業所や商店などへの勤労留学(職業体験学習)を行いました。今回お世話になった事業所は41ヶ所におよび、職種はファストフード店や蕎麦店などの飲食店から、パン工場などの製造業、図書館、消防署などの公共機関、コンビニエンスストアやスーパー、ホームセンターなどの販売業、保育園などの保育施設、デイサービスなどの福祉施設、病院などの医療施設、宅配便やヘアサロン、ホテルなどの運輸・サービス業まで8業種に上ります。

1日目は、JTBの方を講師に招いて、**あいさつや言葉づかい、態度などの社会マナー**を学びました。2日目から4日目までは、**2~5人程度のグループに分かれ事業所に出勤し、実際に「仕事」を体験させていただきました**。中華料理店では、制服姿でお店に立ち元気あふれる声で接客しました。スーパーでは、棚に商品を並べたり、接客や実際にレジに立ち、レジ打ちで会計・袋詰めなどを体験しました。ホテルでは、客室の清掃やフロントでお客様のお出迎え・お見送りをしたり、保育園では保育士さんと一緒に子どもの面倒を見たり、宅配便では、あこがれの制服に身を包み、荷物の運搬や配達をしたりと、**大変な中にも「仕事」のやりがいや「働く」ことの喜びを少しずつ感じ、大変多くのことを学ばせていただきました**。5日目は、お世話になった事業所の皆さんへの感謝を手紙に託して届けました。勤労留学を通して、働くことが想像以上に苦勞が多いことを知り、毎日働いている家族への感謝の気持ちを新たにするとともに、社会に出る日を目指してこれから自分たちがやらなければならないことは何かがわかり始めました。

お世話になった事業所の皆さん、本当にありがとうございました。

## ただ今仕事



## 体験中！

